

2007年

- 4月 ● コミュニティサイト「SBIマネーワールド」のサービス開始
 - 中国の山東省濰坊市(イボウシ)人民政府と提携し、合併会社設立を目的とする包括的提携を前提とした合作意向書に調印
- 5月 ● 投資信託における『手数料革命』を目指す「SBIファンドバンク(株)」を設立
- 6月 ● ベトナム最大のハイテク企業FPT社(The Corporation for Financing and Promoting Technology)と提携、ベトナム通貨建て投資ファンドとファンドマネジメント会社の共同設立に合意
- 7月 ● みずほ証券(株)とのジョイントベンチャーを通じた環境・エネルギー関連分野を対象とする投資ファンドの運営を発表
 - SBIウェルネスバンク(株)が世界最高水準のアンチエイジング医療機関「クリニック・ラ・プレリー社(スイス)」と提携、会員制医療サービス事業への参入を発表
- 8月 ● SBIジャパンネクスト証券(株)へ証券会社5社が各5.0%ずつ資本参加し、ジャパンネクストPTSが取引開始
 - 清華ホールディングスと合併で中国にアセットマネジメントカンパニー「SBI&TH(Beijing) Venture Capital Management Co.,Ltd.」を設立
- 9月 ● インターネット専門銀行「住信SBIネット銀行(株)」が営業免許取得・営業開始
 - 投資用マンション開発を手掛ける(株)リビングコーポレーションの株式を取得し、子会社化
- 10月 ● SBI証券(株)がSBIイー・トレード証券(株)を存続会社として合併
- 11月 ● 中国トップクラスのIT企業グループ北京青島と投資ファンドの共同設立に合意
 - 慶應義塾とアジアの大学発ベンチャー支援に向けて協働することで合意
 - SBI大学院大学が文部科学省より設置認可を取得
 - オートバイテル・ジャパン(株)(現「オートックワン(株)」)の株式を追加取得し、連結子会社化

2008年

- 1月 ● 清華ホールディングスとの投資ファンド共同設立について中国商務部より最終承認を取得、外資企業との合併ファンド承認は北京初の事例
 - ロシアのリーディング金融グループIFC METROPOLとロシア国内投資ファンドの共同設立で合意
 - インターネットに特化した損保「SBI損害保険(株)」が営業開始(2007年12月営業免許取得)
 - 当社とノルウェーの検索テクノロジー会社FAST社との合併会社SBI Robo(株)が実名登録のビジネス系専用SNS「SBI Business」を開始
- 2月 ● 中国の山東省濰坊市に駐在員事務所を開設
- 3月 ● SBIジャパンネクスト証券(株)が運営する「ジャパンネクストPTS」の夜間取引時間を拡大
 - (株)シーフォーテクノロジー(2008年8月に「SBIネットシステムズ(株)」に商号変更)の株式を取得し、子会社化
 - SBIイー・トレード証券(株)での株取引が可能なアプリケーションソフトがプリインストールされた携帯電話機「株ケータイ SoftBank 920SH YK」が、ソフトバンクモバイル(株)から発売
- 4月 ● 日本初のネット専門生保「SBIアクサ生命保険(株)」が営業免許取得・営業開始
 - SBIイー・トレード証券(株)が、韓国における子会社E*TRADE Korea Co., Ltd.の株式譲渡を発表
 - M&Aブティック、ストラテジック・コンサルティング・グループ(株)の株式取得を発表
 - 中国江蘇省の中新蘇州工業園区置地有限公司と、蘇州工業園区における不動産開発プロジェクトへの共同投資を目的として、战略合作意向協議書を締結
- 5月 ● コスモ石油(株)とSBIアラブプロモ(株)を合併会社としてパイオ分野で新事業を手掛ける合併契約を締結
- 6月 ● SBIウェルネスバンク(株)がスイスのクリニック・ラ・プレリー社との日本における独占契約締結
 - 中国の招商証券、源裕投資、中信銀行との間で、中国国内投資ファンド及び4社が共同運営するファンドマネジメントカンパニーの設立で合意
 - 韓国を代表する投資企業グループKTIC Holdings Corporationの第三者割当による新株式発行引受を発表
 - 韓国現代スイスグループと不動産特化型の資産運用会社を共同設立
- 7月 ● SBIイー・トレード証券(株)が「(株)SBI証券」に商号変更
 - 中古車購入者への金融サービス提供を支援する「SBIオートサポート(株)」を(株)ジェイ・エー・エーとの合併により設立
- 8月 ● 株式交換により(株)SBI証券を完全子会社化
 - 住信SBIネット銀行(株)の預金総額が開業より320日で4,000億円を突破